

那覇検疫所沿革並びに検疫所業務略年表

文政 5年	(1822年)	長崎にコレラが侵入し、国内に蔓延、患者・死者10万人に及び、わが国最初の大流行となる。
明治12年	7月14日	海港虎列刺病伝染予防規則公布（太政官布告第28号） ★わが国で最初の統一された検疫規則
明治32年	2月14日	海港検疫法公布 ★海外諸港より来航する船舶に対する恒常的検疫制度の確立 
	5月 1日	野口英世、横浜海港検疫所に検疫医官補として任ぜられる
明治33年	3月	那覇臨時海港検疫所開設（大正 2年6月閉鎖）
大正 8年	8月	那覇臨時海港検疫所開設（大正10年2月閉鎖） ★大正8年から9年にかけて沖縄では、2千余名のコレラ患者の発生があった。
昭和 2年	8月 5日	航空検疫規則公布 ★海外より来航する航空機に対する検疫規則 
昭和13年	1月11日	厚生省官制公布 ★厚生省を設置、検疫に関する事項は予防局で行う
昭和22年	12月24日	食品衛生法公布
昭和26年	5月16日	世界保健機関(WHO)に加盟
	6月 6日	検疫法公布 ★船舶及び航空機に対する検疫制度が確立される
昭和28年	9月 7日	那覇検疫所が設置される（事務所は、那覇商工ターミナル内）
昭和36年	7月31日	那覇空港支所を設置、11月から検疫を開始する
昭和37年	12月25日	那覇検疫所を琉球検疫所に改称
昭和44年	7月25日	国際保健規則(IHR)採択
昭和47年	4月28日	沖縄の復帰に伴う厚生省関係政令の改廃に関する政令公布
	5月15日	沖縄の五海空港を検疫港並びに検疫飛行場に指定 ★琉球検疫所を那覇検疫所に改称
昭和48年	8月 1日	那覇検疫を泊出張所の所在地に移転する
	11月30日	那覇検疫所泊出張所を廃止
昭和51年	4月 1日	那覇検疫所の庶務課が総務課となる
昭和54年	7月 1日	金武出張所と中城出張所を統合し金武・中城出張所に改める
	7月28日	那覇港湾合同庁舎竣工に伴い、8月に移転入居し現在に至る
昭和57年	10月1日	輸入食品監視業務が検疫所の業務となる
		衛生課が衛生・食品監視課となる
昭和60年	4月 6日	統括食品監視官が設置され、衛生・食品監視課が衛生課となる
平成 3年	10月1日	那覇空港支所の検疫衛生課が検疫衛生・食品監視課となる
平成 9年	2月 1日	衛生課、統括食品監視官が廃止され、衛生・食品監視課が設置された 那覇空港支所が那覇空港検疫所支所となる
平成13年	1月 6日	中央省庁組織再編により厚生省が厚生労働省となる
平成17年	4月 1日	組織再編により衛生・食品監視課が食品監視課となり、検疫課が 検疫衛生課となる